

令和3年2月3日 公告

下水道科学館建築機械設備工事

1 設計図書の一部に表記誤りがありました。下記正誤表をご確認ください。

訂正箇所	誤	正
図面全葉113内第2号	図面の通り	図面の通り
図面全113葉内第16号	図面の通り	図面の通り
図面全113葉内第17号	図面の通り	図面の通り
図面全113葉内第18号	図面の通り	図面の通り
図面全113葉内第33号	図面の通り	図面の通り
図面全113葉内第78号	図面の通り	図面の通り
図面全113葉内第86号	図面の通り	図面の通り

冷凍機

記号	名称	形式	冷却能力 kw	冷却時冷水			加熱能力 kw	加熱時温水			附属品	設置場所	電動機出力		電源 φ-v	台数	基礎
				水量 l/min	入口 温度 ℃	出口 温度 ℃		水量 l/min	入口 温度 ℃	出口 温度 ℃			圧縮機 kw	送風機 kw			
RR-1-1	チリングユニット	空冷 ヒートポンプ モジュールチラー	150	429	12	7	150	429	40	45	スプリング防振架台	B1F ドライエリア	9.2×4	0.66×4	3-200	1	
RR-1-2	チリングユニット	空冷 ヒートポンプ モジュールチラー	150	429	12	7	150	429	40	45	スプリング防振架台	B1F ドライエリア	9.2×4	0.66×4	3-200	1	
RR-1-3	チリングユニット	空冷 ヒートポンプ モジュールチラー	150	429	12	7	150	429	40	45	スプリング防振架台	B1F ドライエリア	9.2×4	0.66×4	3-200	1	

記) 1. 冷却能力及加熱能力は上記能力以上とする。  
2. 吐出口、吸込口に消音装置を付属すること。

ポンプ類

記号	名称	系統	形式	口径	流量 l/min	揚程 m	電動機 出力 kw	電源 -v	設置場所	台数	基礎	備考
PCH-1	冷水ポンプ	RR-1-1 一次側	片吸込渦巻型	65×50	429	27	5.5	3-200	B1F機械室	1	既設再利用	附属品共
PCH-2	冷水ポンプ	RR-1-2 一次側	片吸込渦巻型	65×50	429	27	5.5	3-200	B1F機械室	1	既設再利用	附属品共
PCH-3	冷水ポンプ	RR-1-3 一次側	片吸込渦巻型	65×50	429	27	5.5	3-200	B1F機械室	1	既設再利用	附属品共
PCH-6	冷水ポンプ	一般系二次側	片吸込渦巻型	80×65	769	26	5.5	3-200	B1F機械室	1	既設再利用	インバーター対応、附属品共
PCH-7	冷水ポンプ	一般系二次側	片吸込渦巻型	80×65	769	26	5.5	3-200	B1F機械室	1	既設再利用	インバーター対応、附属品共

記) 1. 上記リスト中の揚程は、動力決定上の限界値を示し、承認図提出の際は施工図により計算した値とする。  
2. スプリング防振架台上に据付。

タンク類

記号	名称	系統	材質	有効容量 m <sup>3</sup>	外形寸法 mm	標準記号	架台	基礎	台数	備考
TE-1	膨張水槽	冷水 (屋上)	鋼板製 3.2mm厚	0.1	500×500×700	TE-100	1000	既設再利用	1	
H-CH-1	ヘッダー	冷水(1次) (B1F機械室)	鋼管		200×3600L		742	既設再利用	1	溶融亜鉛メッキ、圧力計・温度計共
H-CH-2	ヘッダー	冷水(1次) (B1F機械室)	鋼管		200×3200L		742	既設再利用	1	溶融亜鉛メッキ、圧力計・温度計共
H-CHR-1	ヘッダー	冷水(2次) (B1F機械室)	鋼管		200×2800L		742	既設再利用	1	溶融亜鉛メッキ、圧力計・温度計共
H-CHR-2	ヘッダー	冷水(2次) (B1F機械室)	鋼管		200×2700L		742	既設再利用	1	溶融亜鉛メッキ、圧力計・温度計共
HA-1	ヘッダー (air抜き)	(B1F機械室)	鋼管		100×1090L				1	溶融亜鉛メッキ ブラケット(L50×50×5)にて取り付け
HA-2	ヘッダー (air抜き)	(B1F機械室)	鋼管		100×1090L				1	溶融亜鉛メッキ ブラケット(L50×50×5)にて取り付け
T1-1	クッションタンク	冷水 (B1F機械室)	鋼板製	1	1000φ×1800L程度		500	既設再利用	1	

記) 1. 架台は全て溶融亜鉛メッキ仕上。  
2. ヘッダーには予備タッピング100Aを取付けの事。

エアターミナルユニット

記号	名称	系統	仕様	台数	備考
VAV-1	VAV エアターミナル ユニット	B1F展示スペース (シアス) (B1F機械室)	電気式 処理风量: 1500~3000m <sup>3</sup> /h 静圧範囲: 5~70mmAq	1	风量制御: DDC (ダイレクトデジタルコントローラ) からの制御信号による

機器廻り分類リスト

機器記号	吸込側	吐出側	台数	備考
RR-1-1 RR-1-2 RR-1-3	冷水水	BV80, 圧力計, 温度計 ストレーナー80	3	BV80, 圧力計, 温度計 瞬間流量計80
PCH-1	冷水水	BV80, 防振継手80, 水抜きGV20 (圧力計)	1	BV80, CV80, 防振継手80 (圧力計)
PCH-2	冷水水	BV80, 防振継手80, 水抜きGV20 (圧力計)	1	BV80, CV80, 防振継手80 (圧力計)
PCH-3	冷水水	BV80, 防振継手80, 水抜きGV20 (圧力計)	1	BV80, CV80, 防振継手80 (圧力計)
PCH-6	冷水水	BV100, 防振継手100, 水抜きGV20 (圧力計)	1	BV100, 防振継手100, 水抜きGV25 (圧力計)
PCH-7	冷水水	BV100, 防振継手100, 水抜きGV20 (圧力計)	1	BV100, 防振継手100, 水抜きGV25 (圧力計)
TE-1	給水 膨張 ドレン水抜き	GV20×2, BT20 GV25 GV25, 防虫網(SUS)40	1	
TE-2	給水 膨張 ドレン水抜き	GV20×2, BT20 GV25 GV25, 防虫網(SUS)40	1	
HCH-1	冷水水	GV80×3, GV100×4, GV125 瞬間流量計100×2, 水抜きGV32(圧力計)(温度計)	1	
HCH-2	冷水水	GV125×2, GV100×3, GV40, GV65 瞬間流量計40, 100, 125×2, 水抜きGV32(圧力計)(温度計)	1	
HCHR-1	冷水水	GV125, GV100×2, GV80×3 瞬間流量計80×3, 100, 125, 水抜きGV32(圧力計)(温度計)	1	
HCHR-2	冷水水	GV125×2, GV100, GV40, GV65 瞬間流量計125×2, 100, 40, 水抜きGV32(圧力計)(温度計)	1	
T1-1	冷水水	GV100×2, 水抜きGV20	1	
ACU-1	冷水水 加湿給水 ドレン	BV65×4, 2方弁装置50×65, 圧力計×4, 温度計×4, 3方弁装置50×65 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50	1	
ACU-2	冷水水 加湿給水 ドレン	BV32×2, 2方弁装置25×32, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50	1	
ACU-3	冷水水 加湿給水 ドレン	BV65×2, 2方弁装置50×65, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50	1	
ACU-4	冷水水 加湿給水 ドレン	BV40×2, 2方弁装置32×40, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50	1	
ACU-5	冷水水 加湿給水 ドレン	BV50×2, 2方弁装置40×50, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50	1	
ACU-6	冷水水 加湿給水 ドレン	BV40×2, 2方弁装置32×40, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50	1	
ACU-7	冷水水 加湿給水 ドレン	BV50×2, 2方弁装置40×50, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50	2	
ACU-8	冷水水 加湿給水 ドレン	BV50×2, 2方弁装置40×50, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50	1	
ACU-9	冷水水 加湿給水 ドレン	BV40×2, 2方弁装置32×40, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50	1	
ACU-10	冷水水 加湿給水 ドレン	BV50×2, 2方弁装置40×50, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50	1	
ACU-11 (既設)	冷水水 加湿給水 ドレン	BV65×2, 2方弁装置50×65, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50	1	

※ ( )内は機器付属品とする。  
BVはバタフライ弁を示す。  
防振継手は球形ゴムとする。

注) 自動制御設備出力項目については、第 ~ 号に記載の事項とする。

名称	下水道科学館建築機械設備工事
	空調設備 機器表(1) (改修図) <b>【訂正前】</b>
尺度	NS 全葉 113 内第 2 号
大阪市建設局下水道部設備課	

冷凍機

記号	名称	形式	冷却能力 kw	冷却時冷水			加熱能力 kw	加熱時温水			附属品	設置場所	電動機出力		電源 φ-v	台数	基礎
				水量 l/min	入口 温度 ℃	出口 温度 ℃		水量 l/min	入口 温度 ℃	出口 温度 ℃			圧縮機 kw	送風機 kw			
RR-1-1	チリングユニット	空冷 ヒートポンプ モジュールチラー	150	429	12	7	150	429	40	45	スプリング防振架台	B1F ドライエリア	9.2×4	0.66×4	3-200	1	
RR-1-2	チリングユニット	空冷 ヒートポンプ モジュールチラー	150	429	12	7	150	429	40	45	スプリング防振架台	B1F ドライエリア	9.2×4	0.66×4	3-200	1	
RR-1-3	チリングユニット	空冷 ヒートポンプ モジュールチラー	150	429	12	7	150	429	40	45	スプリング防振架台	B1F ドライエリア	9.2×4	0.66×4	3-200	1	

記) 1. 冷却能力及加熱能力は上記能力以上とする。  
2. 吐出口に消音装置(動地境界線上の機器合成騒音値が95db以下、機器単体の運転騒音が95db以下)を付属すること。

ポンプ類

記号	名称	系統	形式	口径	流量 l/min	揚程 m	電動機 出力 kw	電源 -v	設置場所	台数	基礎	備考
PCH-1	冷水ポンプ	RR-1-1 一次側	片吸込渦巻型	65×50	429	27	5.5	3-200	B1F機械室	1	既設再利用	附属品共
PCH-2	冷水ポンプ	RR-1-2 一次側	片吸込渦巻型	65×50	429	27	5.5	3-200	B1F機械室	1	既設再利用	附属品共
PCH-3	冷水ポンプ	RR-1-3 一次側	片吸込渦巻型	65×50	429	27	5.5	3-200	B1F機械室	1	既設再利用	附属品共
PCH-6	冷水ポンプ	一般系二次側	片吸込渦巻型	80×65	769	26	5.5	3-200	B1F機械室	1	既設再利用	インバーター対応、附属品共
PCH-7	冷水ポンプ	一般系二次側	片吸込渦巻型	80×65	769	26	5.5	3-200	B1F機械室	1	既設再利用	インバーター対応、附属品共

記) 1. 上記リスト中の揚程は、動力決定上の限界値を示し、承認図提出の値は施工図により計算した値とする。  
2. スプリング防振架台上に据付。

タンク類

記号	名称	系統	材質	有効容量 m3	外形寸法 mm	標準図 記号	架台	基礎	台数	備考
TE-1	膨張水槽	冷水水 (屋上)	鋼板製 3.2mm厚	0.1	500×500×700	TE-100	1000	既設再利用	1	
H-CH-1	ヘッダー	冷水水(1次) (B1F機械室)	鋼管		200×3600L		742	既設再利用	1	溶融亜鉛メッキ、圧力計・温度計共
H-CH-2	ヘッダー	冷水水(1次) (B1F機械室)	鋼管		200×3200L		742	既設再利用	1	溶融亜鉛メッキ、圧力計・温度計共
H-CHR-1	ヘッダー	冷水水(2次) (B1F機械室)	鋼管		200×2800L		742	既設再利用	1	溶融亜鉛メッキ、圧力計・温度計共
H-CHR-2	ヘッダー	冷水水(2次) (B1F機械室)	鋼管		200×2700L		742	既設再利用	1	溶融亜鉛メッキ、圧力計・温度計共
HA-1	ヘッダー (air抜き)	(B1F機械室)	鋼管		100×1090L				1	溶融亜鉛メッキ プラケット(L50×50×5)にて取り付け
HA-2	ヘッダー (air抜き)	(B1F機械室)	鋼管		100×1090L				1	溶融亜鉛メッキ プラケット(L50×50×5)にて取り付け
T1-1	クッションタンク	冷水水 (B1F機械室)	鋼板製	1	1000φ×1800L程度		500	既設再利用	1	

記) 1. 架台は全て溶融亜鉛メッキ仕上。  
2. ヘッダーには予備タッピング100Aを取付けの事。

エアターミナルユニット

記号	名称	系統	仕様	台数	備考
VAV-1	VAV エアターミナル ユニット	B1F展示スペース (シアヌ) (B1F機械室)	電気式 処理风量: 1500~3000m <sup>3</sup> /h 静圧範囲: 5~70mmAq	1	风量制御: DDC (ダイレクトデジタルコントローラー) からの制御信号による

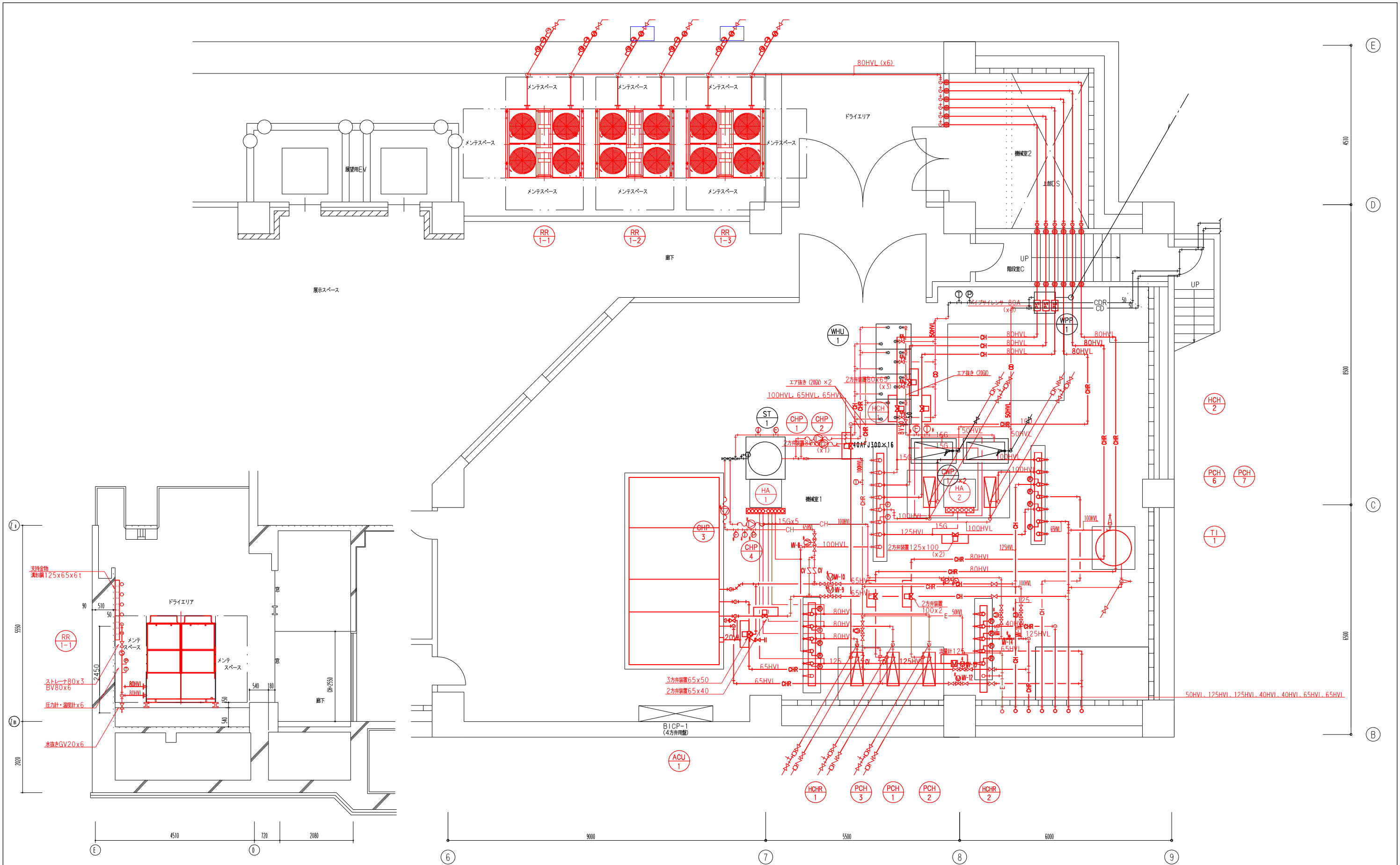
機器廻り分類リスト

機器記号	吸込側	吐出側	台数	備考
RR-1-1 RR-1-2 RR-1-3	冷水水 BV80, 圧力計, 温度計 ストレーナー80	BV80, 圧力計, 温度計 瞬時流量計80	3	
PCH-1	冷水水 BV80, 防振継手80, 水抜きGV20 (圧力計)	BV80, CV80, 防振継手80 (圧力計)	1	
PCH-2	冷水水 BV80, 防振継手80, 水抜きGV20 (圧力計)	BV80, CV80, 防振継手80 (圧力計)	1	
PCH-3	冷水水 BV80, 防振継手80, 水抜きGV20 (圧力計)	BV80, CV80, 防振継手80 (圧力計)	1	
PCH-6	冷水水 BV100, 防振継手100, 水抜きGV20 (圧力計)	BV100, 防振継手100, 水抜きGV25 (圧力計)	1	
PCH-7	冷水水 BV100, 防振継手100, 水抜きGV20 (圧力計)	BV100, 防振継手100, 水抜きGV25 (圧力計)	1	
TE-1	給水 膨張 ドレン水抜き GV20×2, BT20 GV25 GV25, 防虫網(SUS)40		1	
TE-2	給水 膨張 ドレン水抜き GV20×2, BT20 GV25 GV25, 防虫網(SUS)40		1	
HCH-1	冷水水 GV80×3, GV100×4, GV125 瞬時流量計100×2, 水抜きGV32(圧力計)(温度計)		1	
HCH-2	冷水水 GV125×2, GV100×3, GV40, GV65 瞬時流量計40, 100, 125×2, 水抜きGV32(圧力計)(温度計)		1	
HCHR-1	冷水水 GV125, GV100×2, GV80×3 瞬時流量計80×3, 100, 125, 水抜きGV32(圧力計)(温度計)		1	
HCHR-2	冷水水 GV125×2, GV100, GV40, GV65 瞬時流量計125×2, 100, 40, 水抜きGV32(圧力計)(温度計)		1	
T1-1	冷水水 GV100×2, 水抜きGV20		1	
ACU-1	冷水水 加湿給水 ドレン BV65×4, 2方弁装置50×65, 圧力計×4, 温度計×4, 3方弁装置50×65 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50		1	
ACU-2	冷水水 加湿給水 ドレン BV32×2, 2方弁装置25×32, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50		1	
ACU-3	冷水水 加湿給水 ドレン BV65×2, 2方弁装置50×65, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50		1	
ACU-4	冷水水 加湿給水 ドレン BV40×2, 2方弁装置32×40, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50		1	
ACU-5	冷水水 加湿給水 ドレン BV50×2, 2方弁装置40×50, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50		1	
ACU-6	冷水水 加湿給水 ドレン BV40×2, 2方弁装置32×40, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50		1	
ACU-7	冷水水 加湿給水 ドレン BV50×2, 2方弁装置40×50, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50		2	
ACU-8	冷水水 加湿給水 ドレン BV50×2, 2方弁装置40×50, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50		1	
ACU-9	冷水水 加湿給水 ドレン BV40×2, 2方弁装置32×40, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50		1	
ACU-10	冷水水 加湿給水 ドレン BV50×2, 2方弁装置40×50, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50		1	
ACU-11 (既設)	冷水水 加湿給水 ドレン BV65×2, 2方弁装置50×65, 圧力計×2, 温度計×2 BV20, 水抜きGV20 空調機トラップ50		1	

※ ( )内は機器付属品とする。  
BVはバタフライ弁を示す。  
防振継手は球形ゴムとする。

注) 自動防振設置出力項目については、第39~57号に記載の事項とする。

名称	下水道科学館建築機械設備工事
	空調設備 機器表(1)(改修図) <b>【訂正後】</b>
尺度	NS 全葉 113 内第 2 号
大阪市建設局下水道部設備課	

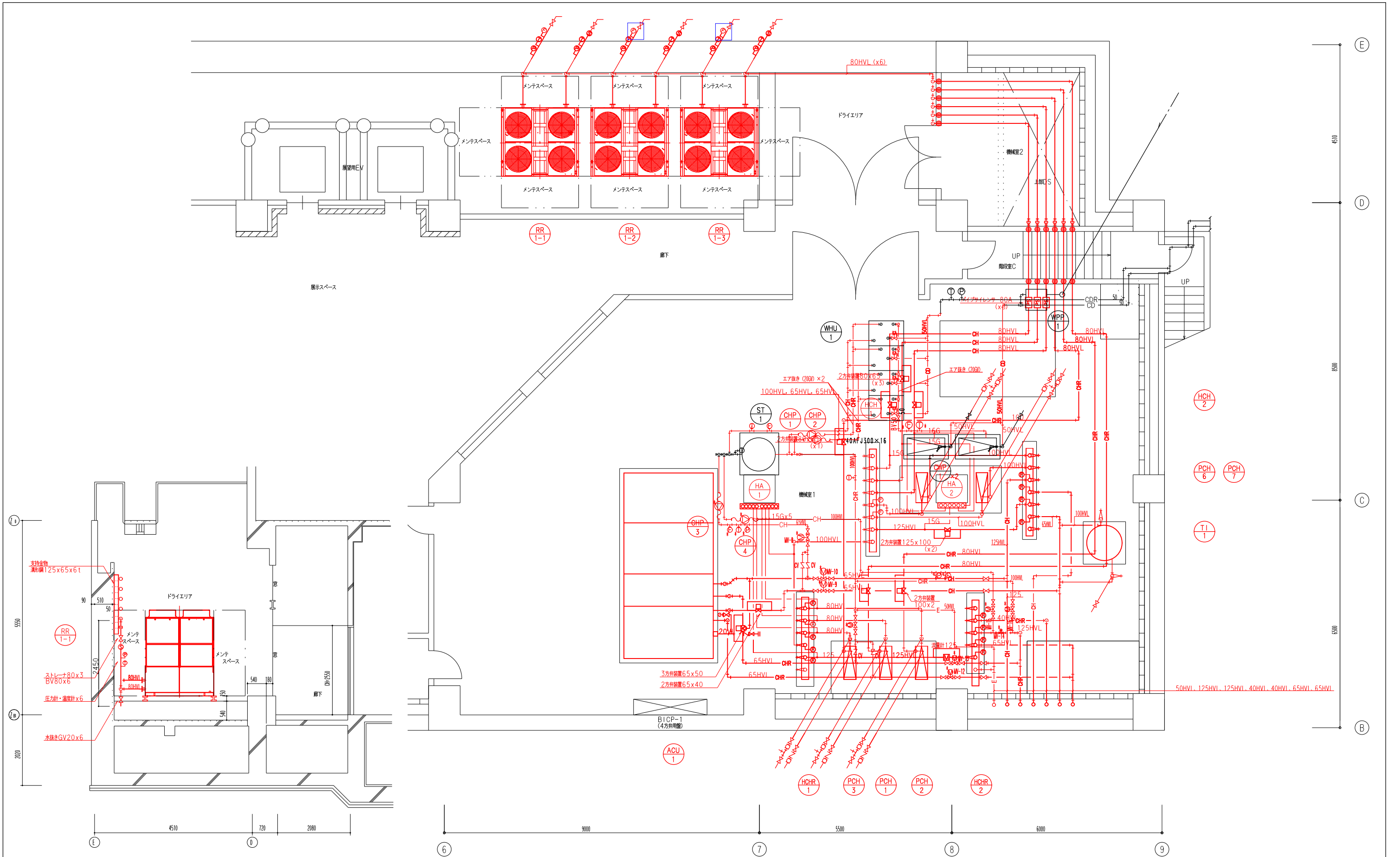


B1階 ドライエリア機器置場断面図 1/100

B1階 機械室平面詳細図 (改修図) 1/100

- 注記)
1. ——— は既設を示す。
  2. ——— は新設を示す。
  3. \* は、再取付 (取外品) 箇所を示す。
  4. ● は、壁はつり箇所 (ダイヤモンドコア) を示す。
  5. 計装品の取付については、本図による他、計装設備図面による。

名 称	下水道科学館建築機械設備工事	
	空調配管設備 機械室平面詳細図 (改修図) <b>【訂正前】</b>	
尺度	1/100	全業 113 内第 16 号
大阪市建設局下水道部設備課		

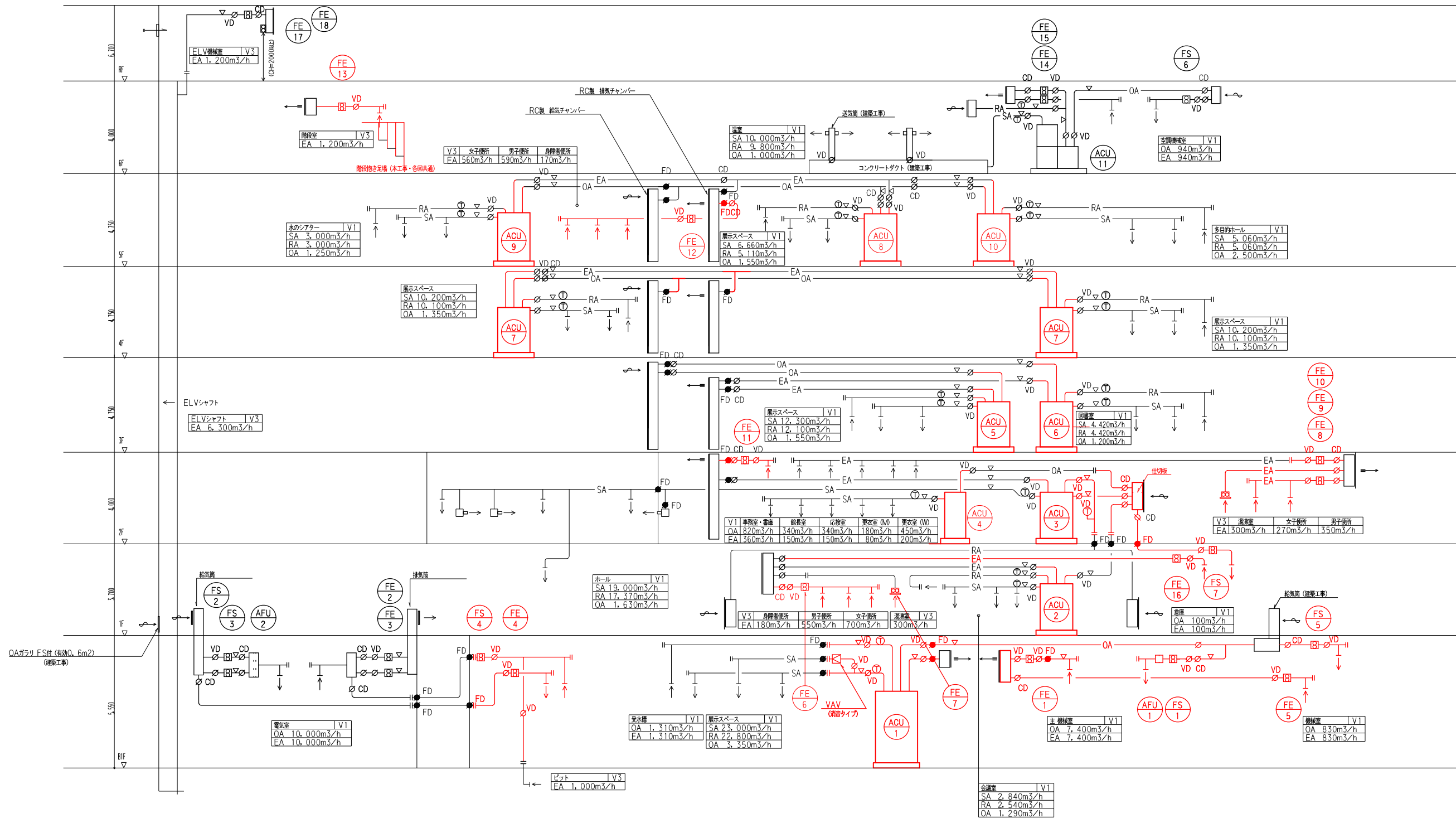


B1階 ドライエリア機器置場断面図 1/100

B1階 機械室平面詳細図 (改修図) 1/100

- 注記
1. ——— は既設を示す。
  2. ——— は新設を示す。
  3. \* は、再取付 (取外品) 箇所を示す。
  4. ● は、壁はつり箇所 (ダイヤモンドコア) を示す。
  5. 計装品の取付については、本図による他、計装設備図面による。

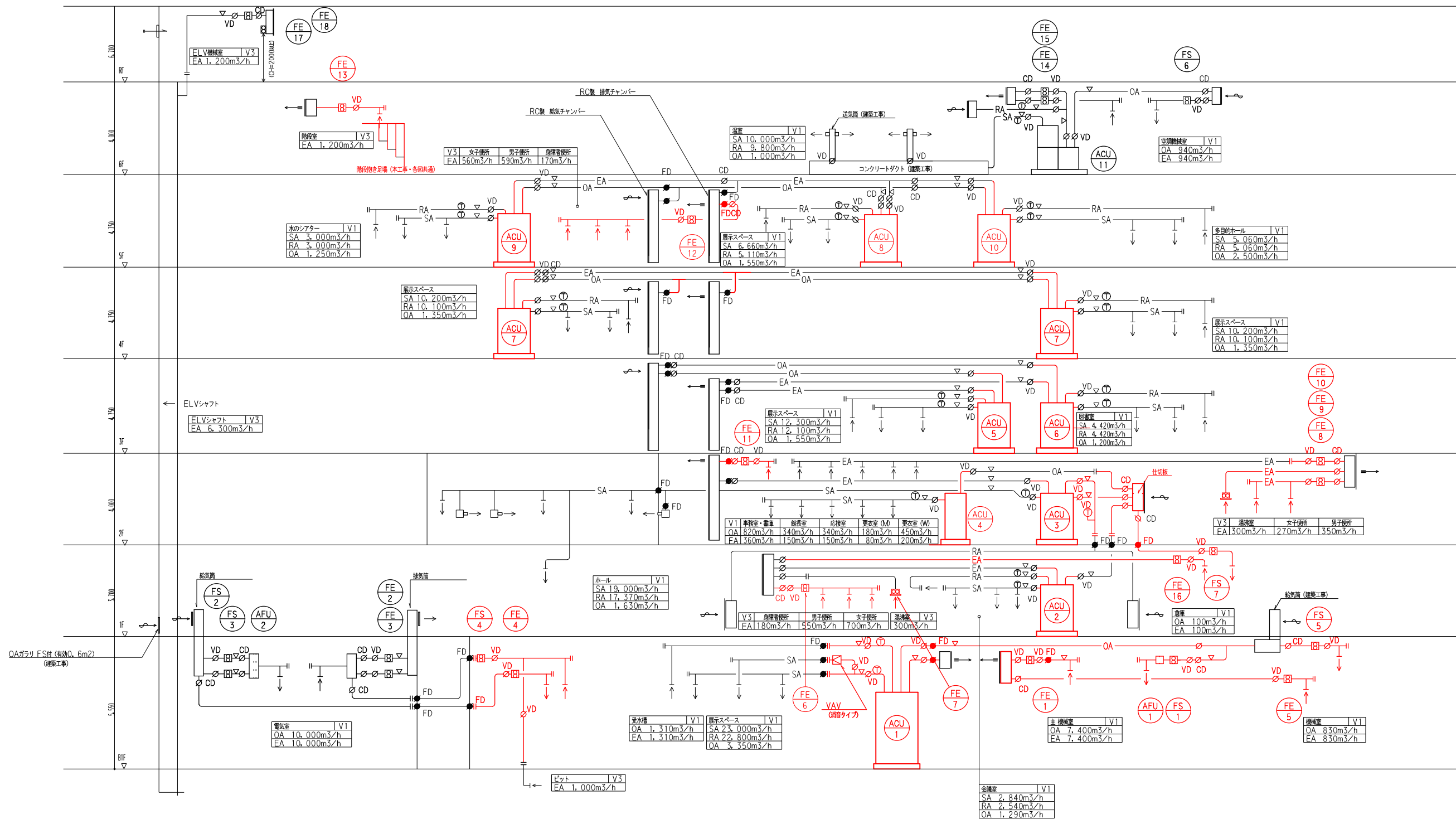
名 称	下水道科学館建築機械設備工事
	空調配管設備 機械室平面詳細図 (改修図) <b>【訂正後】</b>
尺度	1/100 全業 113 内第 16 号
大阪市建設局下水道部設備課	



空調ダクト設備 系統図 (改修図)

- 注記
1. は既設を示す。
  2. は撤去を示す。
  3. 図中  $\nabla$  は風量測定口を示す、数量は共通仕様書による。
  4. 図中  $\textcircled{T}$  は温度計を示す。

名	下水道科学館建築機械設備工事
	空調ダクト設備 系統図 (改修図) <b>【訂正前】</b>
尺度	全業 113 内第 17 号
大阪市建設局下水道部設備課	



空調ダクト設備 系統図 (改修図)

- 注記
1. 〃 は既設を示す。
  2. 〃 は新設を示す。
  3. 図中 ▽ は風量測定口を示す、数量は共通仕様書による。
  4. 図中 ⊕ は温度計を示す。

名	下水道科学館建築機械設備工事
	空調ダクト設備 系統図 (改修図) <b>【訂正後】</b>
称	尺度 - 全葉 113 内第 17 号
	大阪市建設局下水道部設備課

受水槽室		
VHS	250x200	
OA	440m <sup>3</sup> /h	3
	1.310m <sup>3</sup> /h	
HS	250x200	
EA	440m <sup>3</sup> /h	3
	1.310m <sup>3</sup> /h	

電気室		
VHS	700x500	
OA	3.830m <sup>3</sup> /h	3
	11.500m <sup>3</sup> /h	
HS	900x600	
EA	5.500m <sup>3</sup> /h	2
	11.000m <sup>3</sup> /h	

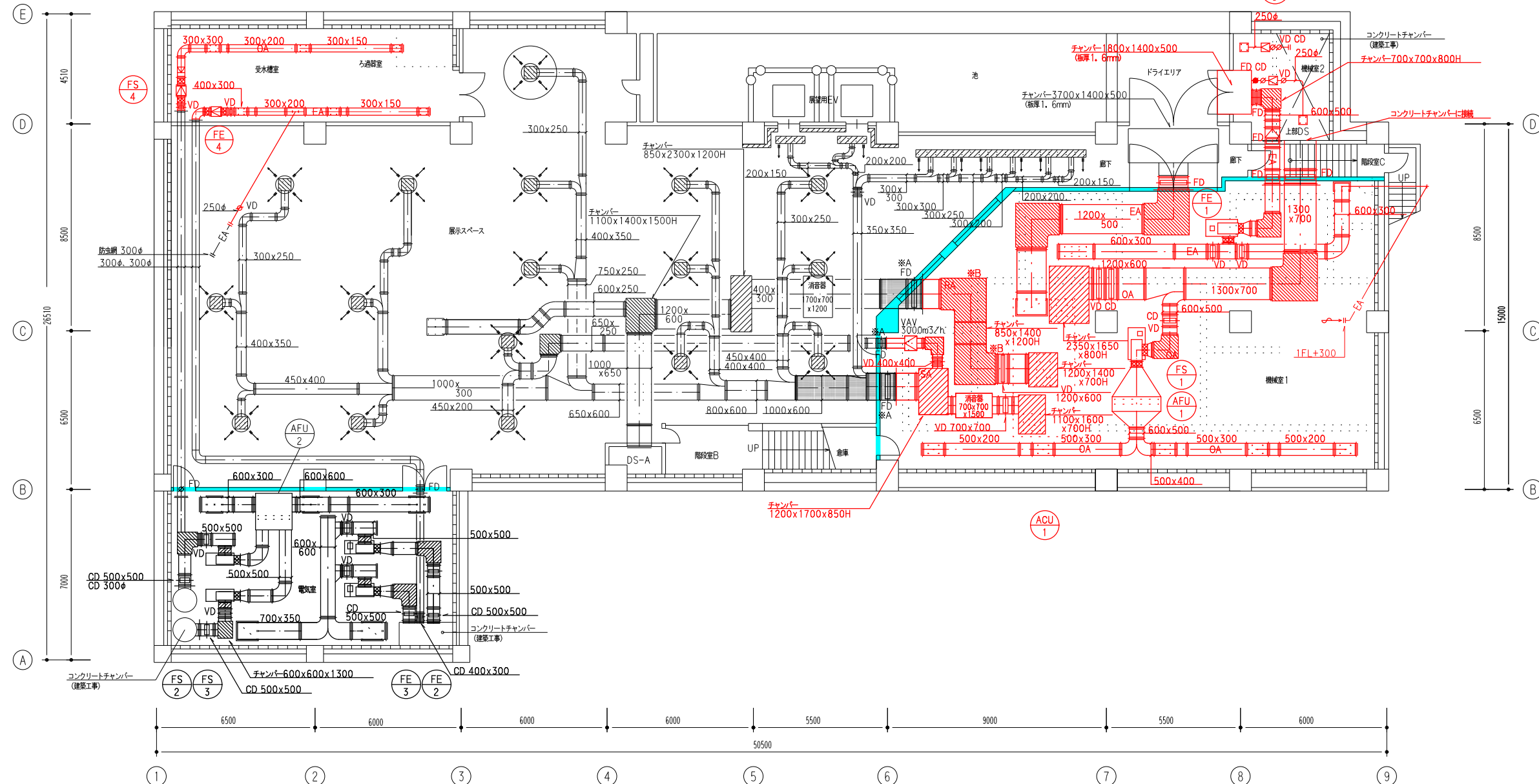
機械室 1		
VHS	400x400	
OA	1.480m <sup>3</sup> /h	5
	7.400m <sup>3</sup> /h	
HS	1.000x400	
EA	3.700m <sup>3</sup> /h	2
	7.400m <sup>3</sup> /h	

機械室 2		
VHS	300x300	
OA	830m <sup>3</sup> /h	1
HS	300x300	
EA	830m <sup>3</sup> /h	1

ガラー(有効 1.6m <sup>3</sup> )	
EA	22.800m <sup>3</sup> /h
	建築工事

ガラー(有効 0.5m <sup>3</sup> )	
EA	7.400m <sup>3</sup> /h
	建築工事

展示スペース		
C2	30 #	
	1.190m <sup>3</sup> /h	15
C2	37.5 #	
	1.500m <sup>3</sup> /h	2
SA	BL-D 1000L	
	270m <sup>3</sup> /h	2
	BL-D 7000L	
	1.650m <sup>3</sup> /h	1
	23.000m <sup>3</sup> /h	
	グリル(建築工事)(有効2.6m <sup>3</sup> )	
	19.800m <sup>3</sup> /h	1
RA	HS 750x750	
	3.000m <sup>3</sup> /h	1
	22.800m <sup>3</sup> /h	



空調ダクト設備 B1階平面図(改修図) 1/200

- 注記)
- は既設を示す。
  - は撤去を示す。
  - ※A は低騒音型 FD
  - は鉛板(厚1.0mm)にて遮音施工を示す。
  - ※B は消音エルボ空気層付 L率=1.5を示す。
  - 吹出口への接続部は消音フレキシブルダクト(長さ1m)使用の事。
  - は防火区画を示し、貫通部のダクトは、1.5mm板厚以上とする。

名	下水道科学館建築機械設備工事
	空調ダクト設備 B1階平面図(改修図) <b>【訂正前】</b>
尺度	1/200 全業 113 内第 18 号
称	大阪市建設局下水道部設備課



受水槽室	
VHS	250x200
OA	440m <sup>3</sup> /h 3
	1. 310m <sup>3</sup> /h
HS	250x200
EA	440m <sup>3</sup> /h 3
	1. 310m <sup>3</sup> /h

電気室	
VHS	700x500
OA	3. 830m <sup>3</sup> /h 3
	11. 500m <sup>3</sup> /h
HS	900x600
EA	5. 500m <sup>3</sup> /h 2
	11. 000m <sup>3</sup> /h

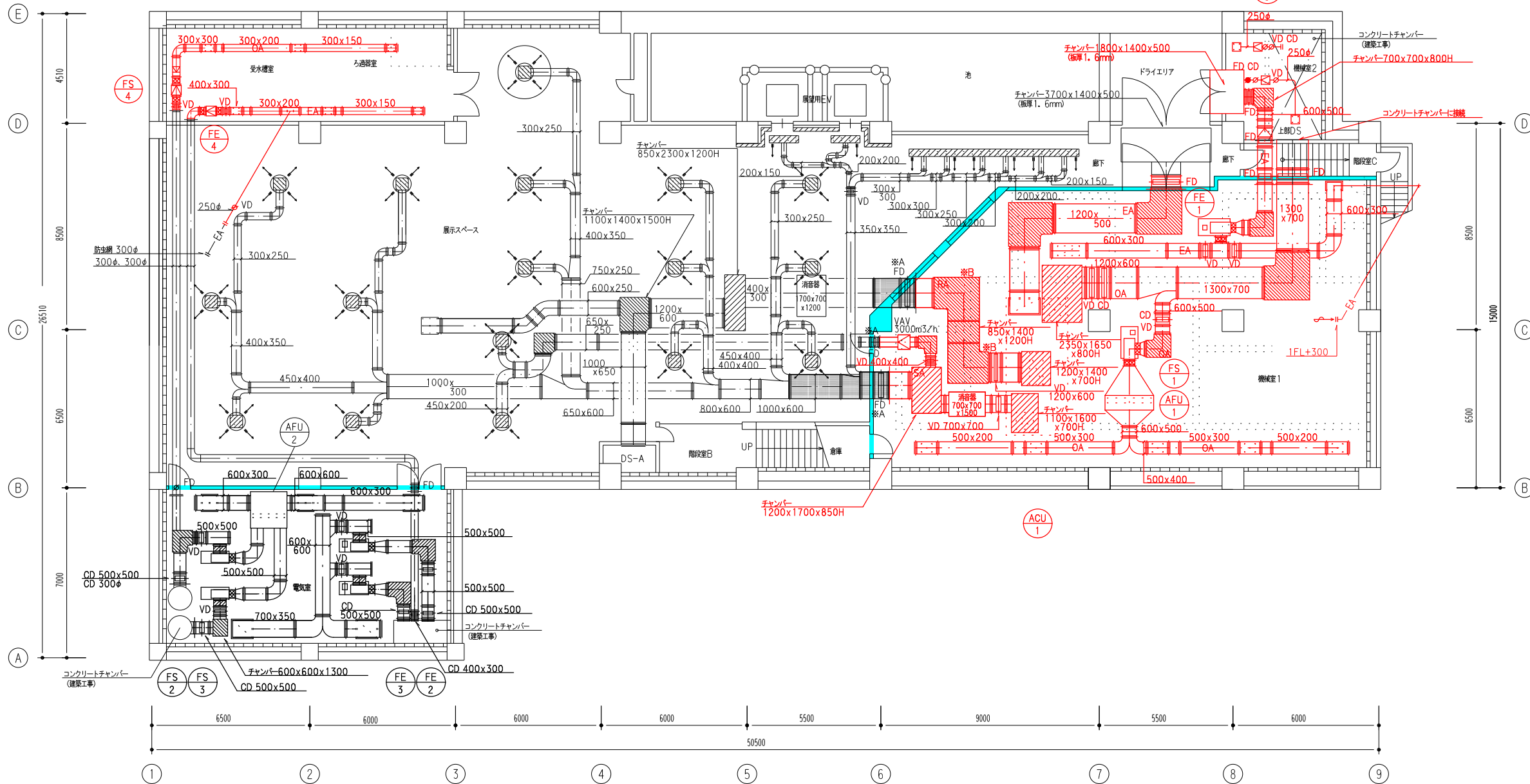
機械室 1	
VHS	400x400
OA	1. 480m <sup>3</sup> /h 5
	7. 400m <sup>3</sup> /h
HS	1. 000x400
EA	3. 700m <sup>3</sup> /h 2
	7. 400m <sup>3</sup> /h

機械室 2	
VHS	300x300
OA	830m <sup>3</sup> /h 1
HS	300x300
EA	830m <sup>3</sup> /h 1

ガラー (有効 1. 6m <sup>3</sup> )	
EA	22. 800m <sup>3</sup> /h
	建築工事

ガラー (有効 0. 5m <sup>3</sup> )	
EA	7. 400m <sup>3</sup> /h
	建築工事

展示スペース		
C2	30 #	
	1. 190m <sup>3</sup> /h	15
C2	37. 5 #	
	1. 500m <sup>3</sup> /h	2
SA	BL-D 1000L	
	270m <sup>3</sup> /h	2
	BL-D 7000L	
	1. 650m <sup>3</sup> /h	1
	23. 000m <sup>3</sup> /h	
	グリル (建築工事) (有効 2. 6m <sup>3</sup> )	
	19. 800m <sup>3</sup> /h	1
RA	HS 750x750	
	3. 000m <sup>3</sup> /h	1
	22. 800m <sup>3</sup> /h	

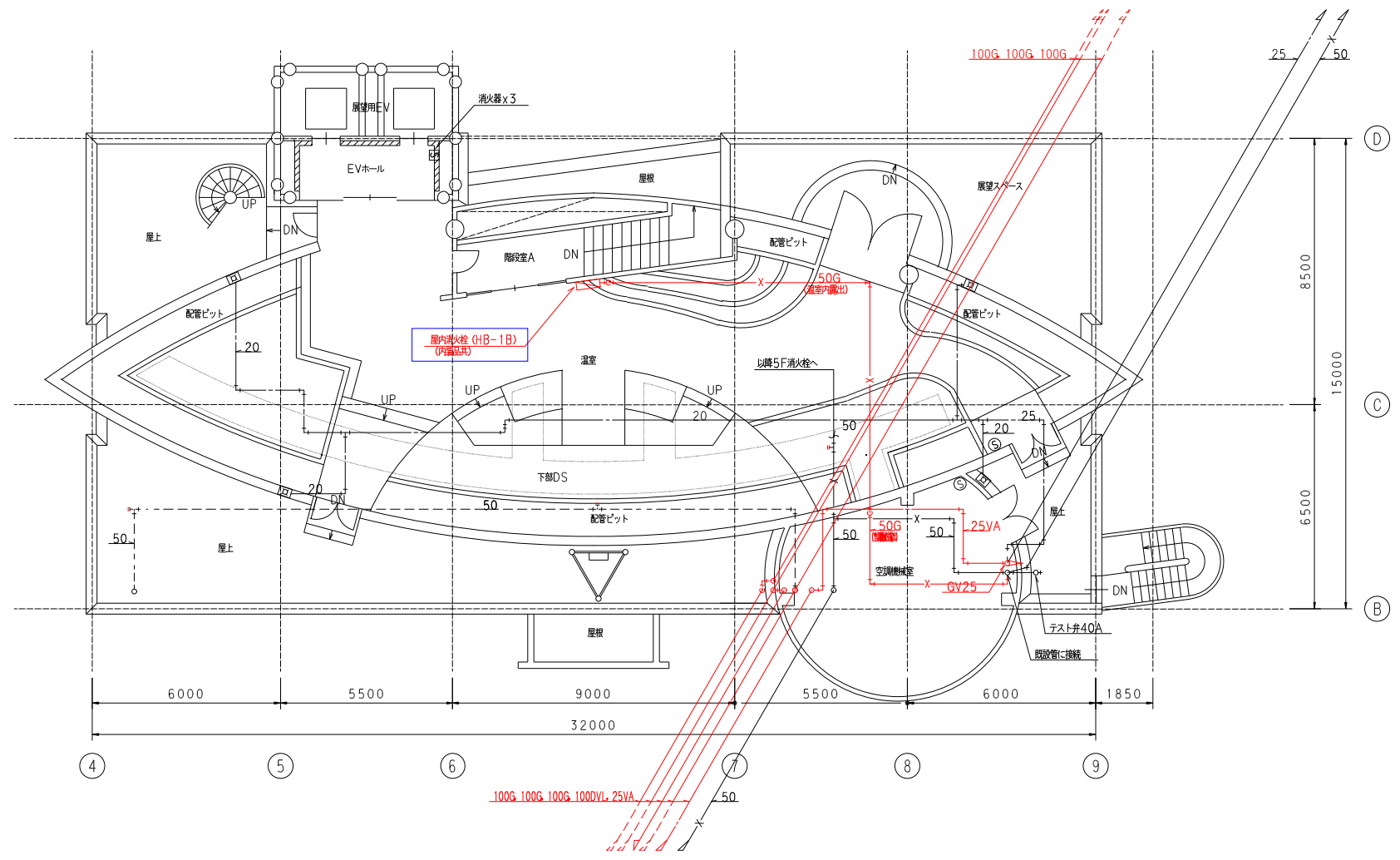


空調ダクト設備 B1階平面図 (改修図) 1/200

注記

- は既設を示す。
- は新設を示す。
- ※A は低騒音型 FD
- は鉛板 (厚 1. 0mm) にて遮音工を示す。
- ※B は消音エルボ空気層付 L率=1. 5を示す。
- 吹出口への接続部は消音フレキシブルダクト (長さ 1m) 使用の事。
- は防火区画を示し、貫通部のダクトは、1. 5mm板厚以上とする。

名	下水道科学館建築機械設備工事
	空調ダクト設備 B1階平面図 (改修図) 【訂正後】
称	尺度 1/200 全業 113 内第 18 号
	大阪市建設局下水道部設備課



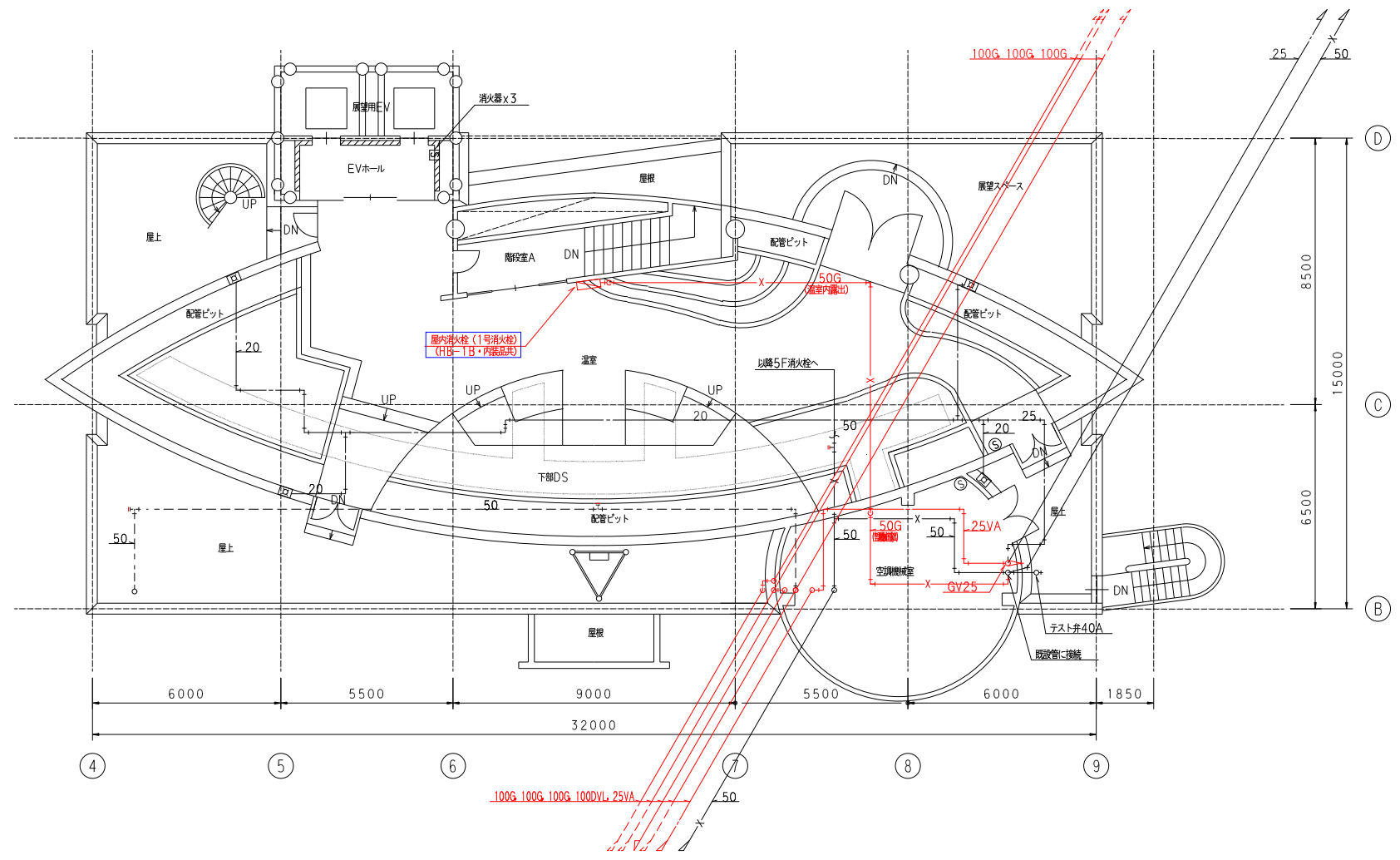
衛生設備 6階平面図 (改修図) 1/200

- 注記
1. 〃 は既設を示す。
  2. 〃 は新設を示す。
  3. 配管撤去後の再利用しない開口部は、モルタルにて穴埋めのこと。
  4. 濯室内火気配管は、キャットウォーク等から支持し、露出配管とする。

共通事項

・ 〃 部分は、本工事施工箇所を示す。

名称	下水道科学館建築機械設備工事
	衛生設備 6階平面図 (改修図) <b>【訂正前】</b>
尺度	1/200 全業 113 内第 33 号
大阪市建設局下水道部設備課	



衛生設備 6階平面図 (改修図) 1/200

- 注記
1. 〰 〰 は概設を示す。
  2. 〰 〰 は新設を示す。
  3. 配管撤去後の再利用しない開口部は、モルタルにて穴埋めのこと。
  4. 道内消火配管は、キャットウォーク等から支持し、露出配管とする。

共通事項

- ・ 〰 〰 部分は、本工事施工箇所を示す。

名称	下水道科学館建築機械設備工事
	衛生設備 6階平面図 (改修図) <b>【訂正後】</b>
尺度	1/200
	全業 113 内第 33 号
大阪市建設局下水道部設備課	

受水槽室		
VHS	250x200	
OA	440m <sup>3</sup> /h	3
	1.310m <sup>3</sup> /h	
HS	250x200	
EA	440m <sup>3</sup> /h	3
	1.310m <sup>3</sup> /h	

電気室		
VHS	700x500	
OA	3.830m <sup>3</sup> /h	3
	11.500m <sup>3</sup> /h	
HS	900x600	
EA	5.500m <sup>3</sup> /h	2
	11.000m <sup>3</sup> /h	

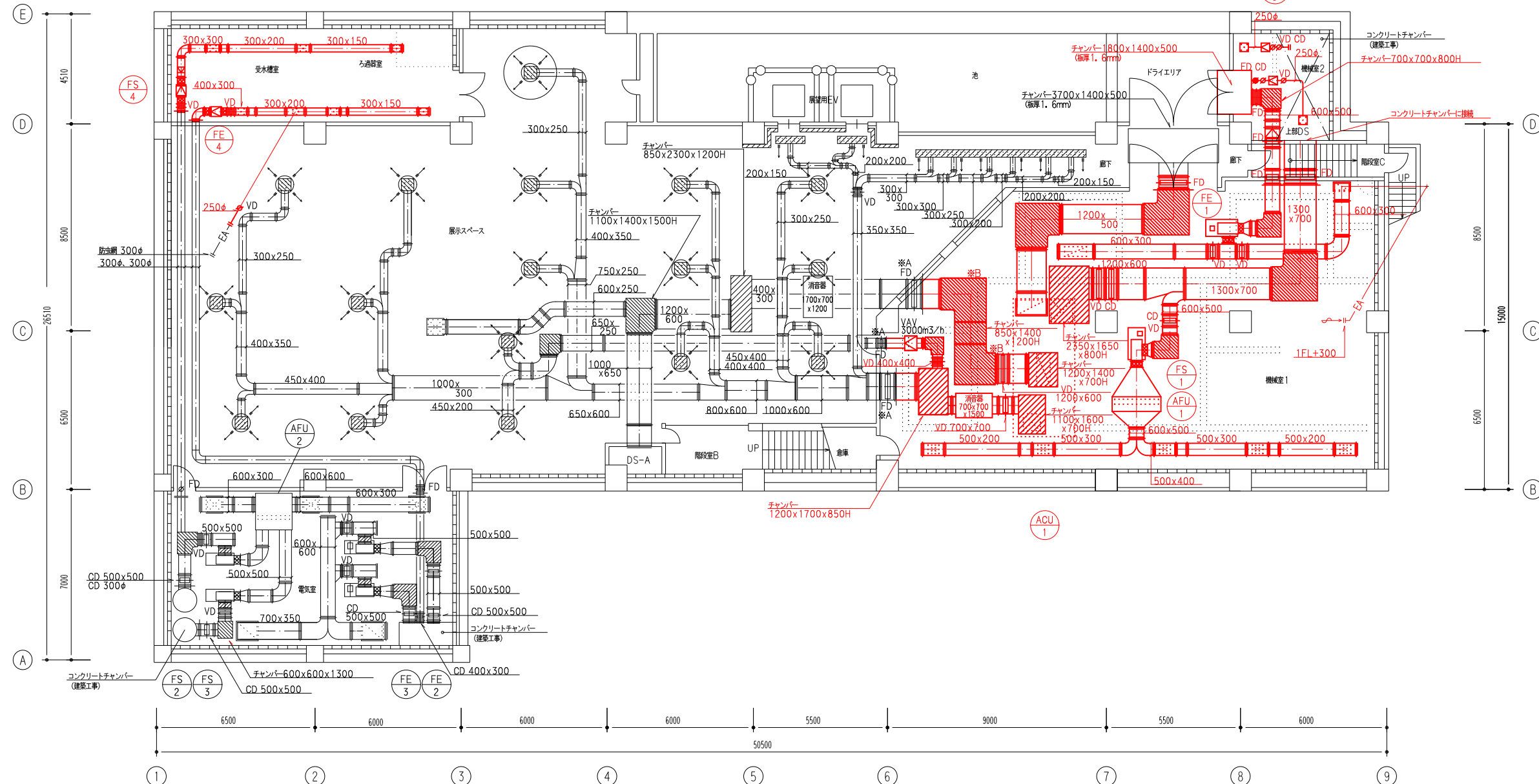
機械室 1		
VHS	400x400	
OA	1.480m <sup>3</sup> /h	5
	7.400m <sup>3</sup> /h	
HS	1.000x400	
EA	3.700m <sup>3</sup> /h	2
	7.400m <sup>3</sup> /h	

機械室 2		
VHS	300x300	
OA	830m <sup>3</sup> /h	1
HS	300x300	
EA	830m <sup>3</sup> /h	1

ガラリ (有効 1.6m <sup>3</sup> )	
EA	22.800m <sup>3</sup> /h
	建築工事

ガラリ (有効 0.5m <sup>3</sup> )	
EA	7.400m <sup>3</sup> /h
	建築工事

展示スペース		
C2	30 #	
	1.190m <sup>3</sup> /h	15
C2	37.5 #	
	1.500m <sup>3</sup> /h	2
SA	BL-D 1000L	
	270m <sup>3</sup> /h	2
	BL-D 7000L	
	1.650m <sup>3</sup> /h	1
	23.000m <sup>3</sup> /h	
	グリル (建築工事) (有効 2.6m <sup>3</sup> )	
	19.800m <sup>3</sup> /h	1
RA	HS 750x750	
	3.000m <sup>3</sup> /h	1
	22.800m <sup>3</sup> /h	



空調ダクト設備 B1階平面図 (撤去図) 1/200

- 注記
- は既設を示す。
  - は撤去を示す。
  - ※A は低騒音型 FD
  - は鉛板 (厚 1.0mm) にて遮音工を示す。
  - ※B は消音エルボ空気層付 L率=1.5を示す。
  - 吹出口への接続部は消音フレキシブルダクト (長さ 1m) 使用の事。

名	下水道科学館建築機械設備工事
称	空調ダクト設備 B1階平面図 (撤去図) 【訂正前】
尺度	1/200 全業 113 内第 78 号
大阪市建設局下水道部設備課	

受水槽室		
VHS	250x200	
OA	440m <sup>3</sup> /h	3
	1.310m <sup>3</sup> /h	
HS	250x200	
EA	440m <sup>3</sup> /h	3
	1.310m <sup>3</sup> /h	

電気室		
VHS	700x500	
OA	3.830m <sup>3</sup> /h	3
	11.500m <sup>3</sup> /h	
HS	900x600	
EA	5.500m <sup>3</sup> /h	2
	11.000m <sup>3</sup> /h	

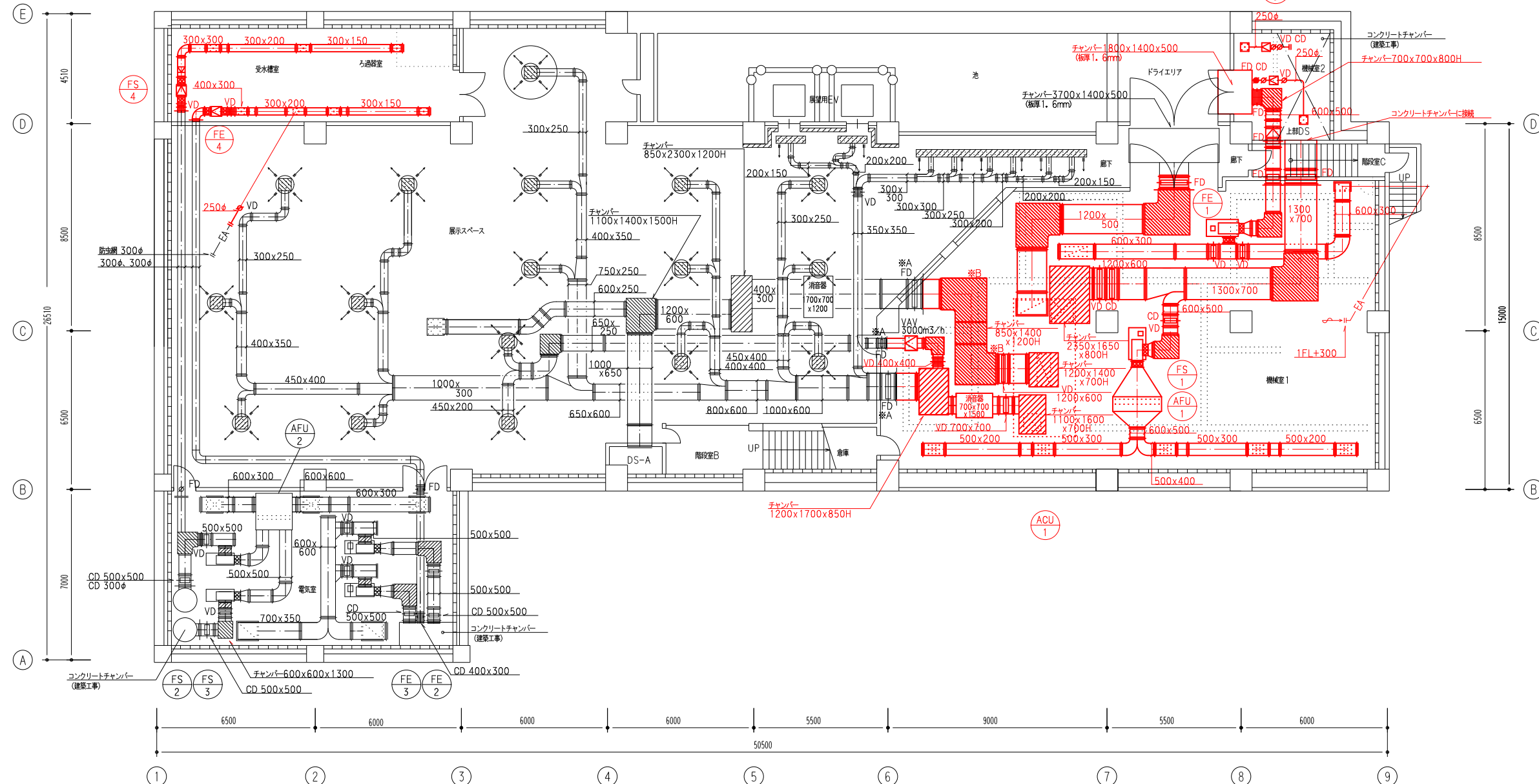
機械室 1		
VHS	400x400	
OA	1.480m <sup>3</sup> /h	5
	7.400m <sup>3</sup> /h	
HS	1.000x400	
EA	3.700m <sup>3</sup> /h	2
	7.400m <sup>3</sup> /h	

機械室 2		
VHS	300x300	
OA	830m <sup>3</sup> /h	1
HS	300x300	
EA	830m <sup>3</sup> /h	1

ガリ (有効 1.6m <sup>3</sup> )	
EA	22.800m <sup>3</sup> /h
建築工事	

ガリ (有効 0.5m <sup>3</sup> )	
EA	7.400m <sup>3</sup> /h
建築工事	

展示スペース		
C2	30 #	
	1.190m <sup>3</sup> /h	15
C2	37.5 #	
	1.500m <sup>3</sup> /h	2
SA	BL-D 1000L	
	270m <sup>3</sup> /h	2
	BL-D 7000L	
	1.650m <sup>3</sup> /h	1
	23.000m <sup>3</sup> /h	
	グリル (建築工事) (有効 2.6m <sup>3</sup> )	
	19.800m <sup>3</sup> /h	1
RA	HS 750x750	
	3.000m <sup>3</sup> /h	1
	22.800m <sup>3</sup> /h	



空調ダクト設備 B1階平面図 (撤去図) 1/200

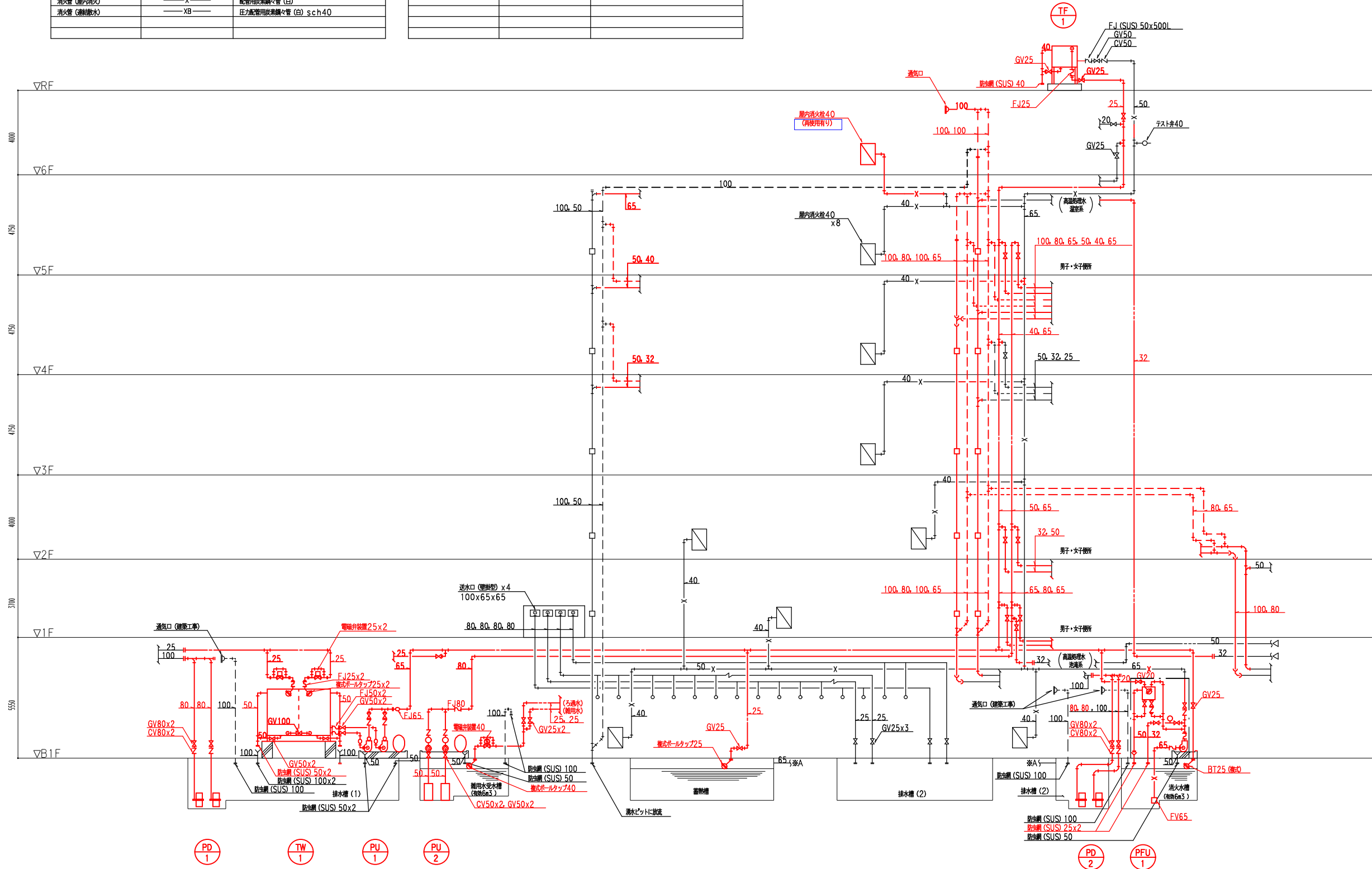
- 注記
- は既設を示す。
  - は撤去を示す。
  - ※A は低騒音型 FD
  - は鉛板 (厚 1.0mm) にて遮音工を示す。
  - ※B は消音エルボ空気層付 L率=1.5を示す。
  - 吹出口への接続部は消音フレキシブルダクト (長さ1m) 使用の事。

名	下水道科学館建築機械設備工事
称	空調ダクト設備 B1階平面図 (撤去図) 【訂正後】
尺度	1/200 全業 113 内第 78 号
大阪市建設局下水道部設備課	

凡例

名称	記号	使用管材
給水管 (上水)	—	—
給水管 (雑用水・温水)	—	屋内 ビニルライニング鋼管 VLP (VA)
給水管 (高度処理水)	—	屋外 ビニルライニング鋼管 VLP (VD)
給水管 (再利用水)	—	—
汚水管	—	メカニカル形 排水用鋼管
雑排水管	—	配管用炭素鋼管 (白)
通気管	—	配管用炭素鋼管 (白)
消火管 (屋内消火)	X	配管用炭素鋼管 (白)
消火管 (避難階段)	XB	圧入配管用炭素鋼管 (白) sch40

名称	記号	備考
仕切弁	—	—
逆止弁	—	—
防振継手	—	ゴム製
可とう継手	—	SUS製
流水継手	—	—
熱源水 (返り)	—	ビニルライニング鋼管 VLP (VD)



衛生設備 配管系統図 (撤去図)

注記  
 1. — は既設を示す。  
 2. — は撤去を示す。

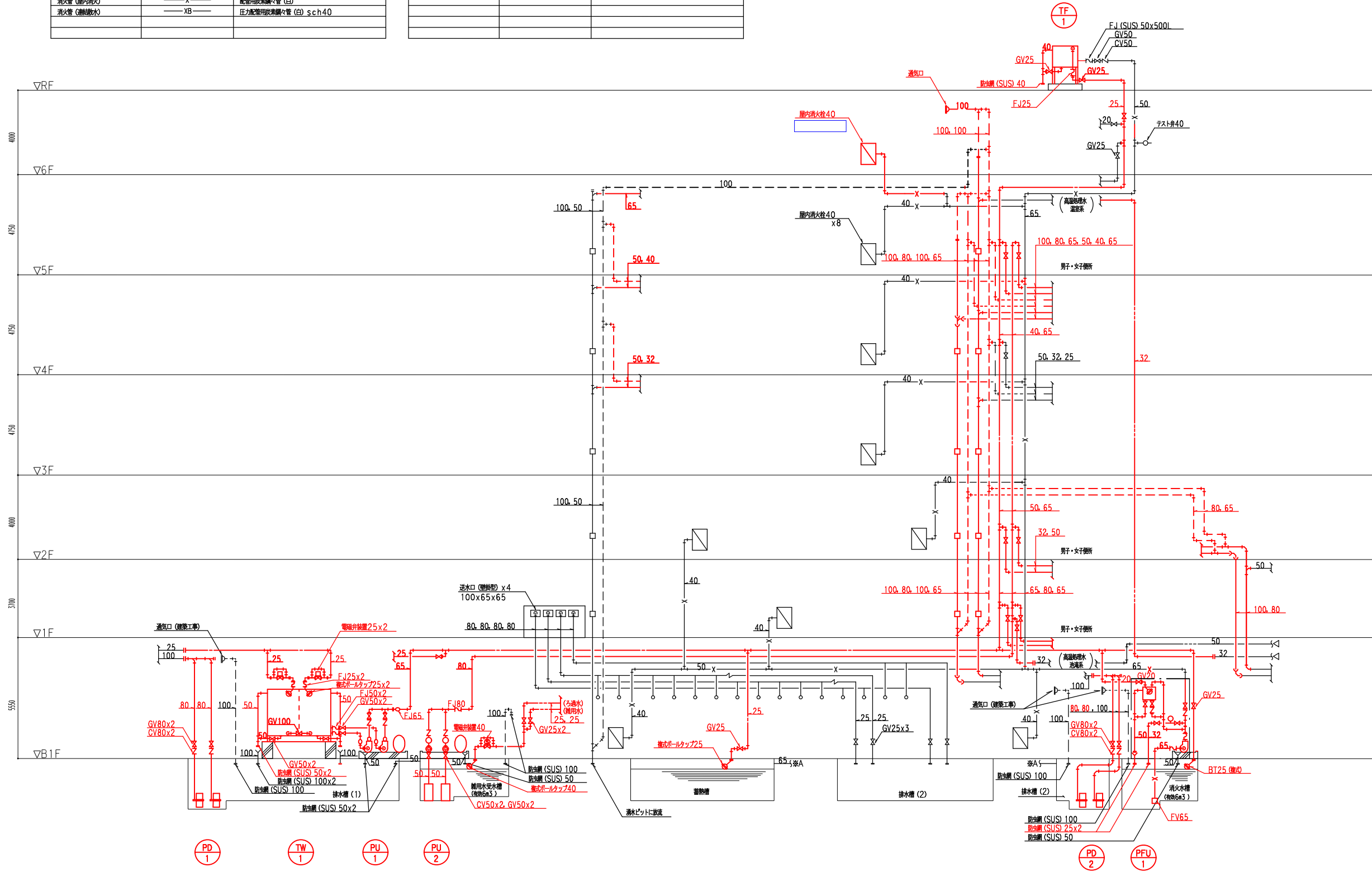
共通事項  
 ・ 赤線部分は、本工事施工箇所を示す。

名称	下水道科学館建築機械設備工事
	衛生設備 配管系統図 (撤去図) <b>【訂正前】</b>
尺度	— 全葉 113 内第 86 号
大阪市建設局下水道部設備課	

凡例

名称	記号	使用管材
給水管 (上水)	—	
給水管 (雑用水)	—	屋内 ビニルライニング鋼管 VLP (VA)
給水管 (高圧処理水)	—	屋外 ビニルライニング鋼管 VLP (VD)
給水管 (再利用水)	—	
汚水管	—	メカニカル形 排水用鋼管
雑排水管	—	配管用炭素鋼管 (B)
通気管	—	配管用炭素鋼管 (B)
消火管 (屋内消火)	—X	配管用炭素鋼管 (B)
消火管 (屋外消火)	—XB	圧力配管用炭素鋼管 (B) sch40

名称	記号	備考
仕切弁	—	
逆止弁	—	
防振継手	—	ゴム製
可とう継手	—	SUS製
高水継手	—	
熱源水 (返り)	—CDR	ビニルライニング鋼管 VLP (VD)



衛生設備 配管系統図 (撤去図)

注記  
 1. — は既設を示す。  
 2. — は撤去を示す。

共通事項  
 ・ 赤線部分は、本工事施工箇所を示す。

名称	下水道科学館建築機械設備工事
	衛生設備 配管系統図 (撤去図) <b>【訂正後】</b>
尺度	— 全業 113 内第 86 号
大阪市建設局下水道部設備課	